



東芝エネルギー・システムズ株式会社京浜事業所

施設敷地面積約 499,000 平方メートル、敷地内緑地約 42,000 平方メートル
調査地は 1 箇所、事業所入口横ビオトープ

お話を伺った方 山口翔さん（東芝エネルギー・システムズ株式会社）=Y
・ インタビュー オオシオカラトンボ=O

※オオシオカラトンボ……シオカラトンボに似ているが、やや太めの体型。2種を見分けられたらトンボとり上級者？！

「生物多様性日本アワード」受賞 おめでとうございます

○ 昨年も何度もトンボ池を利用させていただきました。ありがとうございます。そして、昨年は「生物多様性日本アワード」優秀賞受賞というニュースもありましたね。

Y はい、おかげさまで社内でも「明るいニュース」として反響がありました。私どもの本社の広報担当に受賞のことが伝わって、全社的に喜ばしいと、このような活動に関わり、生物多様性の保全にも役立てたと社内で評価されました。



会社全体にフォーラムでの活動
が認知されたのですね。

Y ええ、年に1回、各部署が開発した技術や製品を一括して社内向けに内覧会のようなイベントを行うのですが、その時に京浜事業所の環境活動の取り組みとしてA0判の大きなポスターにして掲示しました。それで結構所内からの反響をいただきましたよ。

また、年2回発行している「京浜事業所環境報告書」があるのですが、こちらには以前からフォーラムの活動を「生物多様性保全の取り組み」として掲載しています。今回の受賞がきっかけになり、所内の環境意識の底上げにもつながっていくのではと期待しています。

京浜地区の企業間ネットワーク

○ フォーラムに参加することで同じ京浜地区の企業とつながりができることがあるのではないか？

Y はい、フォーラムもですが、横浜市環境創造局みどりアップ推進課の「京浜の森 緑のまちづくり」にも



参加しているので、今まで同じ京浜地区にあっても交流がなかった企業様と接点が持てて、環境についてはもちろん、ものづくりや安全管理について経営者同士が意見交換会をするような広がりもできています。

○ それは素晴らしいですね。では、これからもビオトープにおじゃましますので、ぜひ捕獲してマーキングしてくださいね。

ものづくりとともに地域の環境も 考えたい

横浜市民には京浜地区は工場しかないと思っている人がいるようですが、実はみなさんのお陰で緑も水場もあって、トンボとしては助かっています。



Y そうですね、この事業所は1945年からずっとこの地でのものづくりをしていて、これからも根ざしていくからには周辺の環境も考えなければいけないと思っていますので、考え方と共に感して2011年からフォーラムに参加させていただいている。少しでも京浜地区の緑化に貢献できればという思いです。

○ トンボにとっても大助かりです！ 事業所入り口横にあるビオトープは一般の人も見ることができるのですね。

Y はい、事業所の門の外側にあり、バス停とタクシー乗り場の後ろにあるため、ご来社されたお客様にバス待ちの時間に見ていただけるように設置しています。結構ご覧になられるお客様も多いんですよ。



オオシオカラトンボ